



Seisen
Junior & Senior
High School

清泉女学院中学高等学校

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻200

TEL 0467-46-3171 FAX 0467-46-3157 https://www.seisen-h.ed.jp

カイロス

καίρος

第89号

2026年9月3日発行

生徒の未来に向き合う 清泉の進路指導



進路指導研究副部長・
進学指導主任
大原 俊輔

まだ寒さの残る二月下旬のある日の午後。「先生、先生」と息を切らせながら職員室にやってくる生徒がいます。「合格しました。ありがとうございます」受験生として真摯に自分の未来と向き合ってきた生徒たちを見てきた私たちにとって、この上なく嬉しい報告です。

高校生活の最後にして最大のチャレンジとなるのが、大学入試です。しかしそんな大きなチャレンジですが、高校一年で入学した時に、大学受験について具体的にイメージできている生徒はいません。高校入学後、幅広い授業を通じて学びを深め、進路指導を通じて大学・学部を具体化させ、キャンパス訪問や講演会に参加し自身の世界を広げながら、「受験生」として少しずつ成長していきます。

本校で行なっている高校生の進路指導について紹介します。まず本校では生徒面談の機会を多く設けています。担任の教員との定期的な面談はもちろん、授業担当や進路指導の教員といつでも学習や進路について相談できます。授業時に「先生、面談をお願いします」「では次の〇〇の放課後はどうですか」「お願いします」というやりとりは色々な教

室で行われ、受験を終えた生徒からは「受験期のプチ楽しみでした」なんて言われたこともありました。

そんな面談で、私たちは、これまで多くの生徒たちの幅広い進学指導に対応してきたことから、一般選抜はもちろん、学校推薦型や総合型選抜など様々な種類の受験についての情報を提供できます。上智大学のカトリック高等学校対象特別入試や、慶應義塾大学の公募制推薦など、難関大学の年内入試合格率も高くなっています。また、東京大学や一橋大学などの難関国立大学の論述問題の指導、小論文の個別指導、面接試験に向けての練習も、数多く実施しています。

放課後学習のチュータープラスは、学習のアドバイス以外にも、英検対策講座や、進路選択、受験期の過ごし方の講演、そして高三対象のパーソナルメンター制度があります。これは志望校に進学しているメンターが受験期の一年間を伴走してくれて、定期的に相談できる制度です。受験を体験した年の年齢も近い先輩メンターと相談できる機会は、大いに参考になったとの声もいただきました。

また、進学指導の様々な機会には卒業生に参加してもらいます。キラキラした大学生活を送り、少し大人っぽく見える先輩たちも、一、二年前は皆さんと同じ教室で学び、自分の生き方について悩み、もがきながらも大学進学を決めた人たちがばかりです。キャンパスツアーを依頼しても気持ちよく引き受けて、「私が

昔ツアーに参加した時に印象に残ったので、ぜひ後輩たちにも紹介したい」と、自身の経験を踏まえた計画を立ててくれます。

模試の機会も大切にしていきます。模試を通じて自らの学びの到達度を確認し、全国レベルの中で自身の位置付けを認識できます。一年間の模試の回数は他の学校に比べても多いのですが、これは学校内外の環境で受験経験を積むことと、より多くの数字を用いて学力の推移を確認し、課題を可視化して、志望校選択や合格につなげていきたいとの理由からです。

受験に不可欠な学力の土台となるのは、日々の学習を通じて身につけた「圧倒的な基礎力」です。学力は一朝一夕で身につくものでなく、覚えて忘れて考えて、を繰り返していきます。学習成果が現れず、焦る気持ちになることもあります。重なる時間は必ずや皆さんの中に蓄積されています。

自分を信じ、皆さんの力を伸ばしたいと願う教員を信じて学習を続けてください。皆さんすべてが望む進路の実現のため、私たちは力になれるよう準備をしています。皆さん、学校をうまく活用してください。



詳細は次号で紹介いたします

↓音楽部受賞メダル



◆ INSIDE ◆ ② 高校生模擬裁判選手権神奈川県予選・交流戦に参加・高二家庭科 特別座談会・A1倫理会議実行委員 富士通本社訪問・第十九回清泉模擬国連・ライフナビゲーション=進路探究 ③ 2025年度生徒会活動報告・清泉百花百景 社会科 橋英彰先生 ④ 先生たちの「学びへのこだわり」が光る授業 ⑤ 学生生活進行形 金沢美術工芸大学 小林紗和さん ⑦ 短信・異動・賞

「カイロス」は、ギリシャ語で「時」という意味です。